

教科	算数	単元名	面積
----	----	-----	----

本時のねらい

既習の求積方法に関する知識を活用して、長方形の一部が欠けた図形の面積の求め方について、よりよい方法で考えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ヒントページを送ることで、どの児童にも必要に応じた支援を行うことができる。
- ・発表ノートを活用し、他の児童の意見と比較することで、考えを深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・SKY MENU Class 発表ノート
- ・スクリーン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○前時に学習した、長方形と正方形の面積を求める公式を確認する。	
展開 (25分)	○本時のめあてを確認する。 ○複合図形の面積の求め方を考える。 ・立式はワークシート、考え方はタブレット上に示す。 ・支援が必要な児童に対して、ヒントページを送付し、参考にするよう促す。 ○考えをペアで交流し、深めた内容を全体で交流する。 ・自分の考えを発表ノートを使って、説明する。 ・友だちの考え方との違いを比較しながら、理解を深める。	・支援が必要な児童には発表ノートでのヒントページ（複合図形を分割すると、2つの長方形や正方形になることを示した図）を送る。 ・発表ノートを操作しながら、説明する。
まとめ (15分)	○交流した意見をもとに、自分の考えをふり返り、再度「よりよい」説明を考える。 ○学んだことを活かして、類似問題を解く。 ・類似問題を解くことで、学習内容を振り返らせる。	・理解が十分でない児童には「解説ページ」として、色分けした図をもとに視覚的な支援を行い、定着を図る。 ・発表ノートに式や考え方を書かせ、提出させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



図形の面積の求め方を考えている場面



タブレットを使って、自分の考えを説明している場面



学んだ面積の求め方を参考に、類似問題に取り組んでいる場面

児童生徒の反応や変容

本単元では、発表ノートを使って、ペアや全体の前で説明する機会を多く取り入れた。発表ノートがあることで図をもとに説明することができ、さらに聞いている児童の理解につながった。またヒントページを参考に自力で解決していこうとする態度が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

算数の図形の学習において、ICTの活用は非常に有効な手段だと考えられる。今回の単元では、図形を直接比較したり、図形の色を変えたりすることで、児童が学習内容を理解することへの一助となった。また、発表ノートやスクリーンを使っての全体共有を通して、児童同士の言語活動も活発になった。